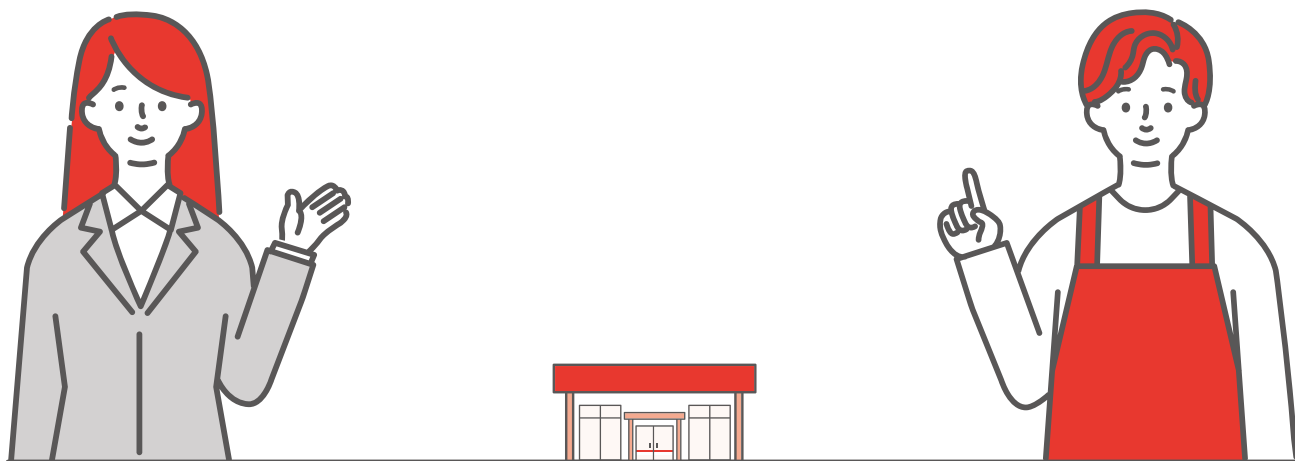


メディアイド ワークスケア

製品導入事例

「株式会社ベルク」



株式会社ベルクさま

埼玉県を中心に関東エリアでスーパーマーケットを展開する株式会社ベルク。1959年の創業以来、店舗数の拡大と効率的な運営を通じて安定した成長を続け、競争の激しいスーパーマーケット業界においても高い収益性を維持しています。

従業員の健康を重要な経営資源と位置づけ、「健康経営」にも積極的に取り組む同社は、従業員の腰痛課題改善を目的とし、2017年より日本シグマックスの腰サポーターを従業員に支給する取り組みを開始しました。

「ベルク」の腰痛対策について、腰サポーター支給の取り組みを中心に伺いました。



社員・店舗スタッフの教育・育成や、店舗運営の研修に携わる傍ら、労災対策の推進も担当。情報収集から具体的な施策の企画、検証、運用定着までを一貫して担い、現場の声に耳を傾けながら、問題を未然に防ぐための対策に邁進されています。

お話を伺った方

株式会社ベルク 人事教育部 係長
阿部 雄一 氏 (2025年3月時点)

ベルクにおける腰痛対策の必要性について教えてください

小売業は比較的腰痛の多い業種で、毎年500～700人の方が腰痛により4日以上休業しているとされています。腰痛労災はベルクでも課題であり、休業に至らずとも腰痛が辛いという声が現場から聞かれます。労災予防のためにも、従業員の健康のためにも、腰痛対策は重要です。

2017年から開始した腰サポーターの支給以外にも、従業員の腰痛改善のため様々な対策を行っています。作業姿勢の指導や、作業台や椅子の高さの見直しなど作業環境の改善、

自社オリジナルの腰痛予防ストレッチもあります。こういった対策の導入は、従業員の身体的負担の軽減のみならず、精神的負担の軽減にも繋がっています。

ちなみに、2023年末より導入した「レジ椅子」設置の取り組みは、令和6年度「SAFEアワード」安全な職場づくり部門において、トップにあたる「ゴールド賞」を受賞しました。

【SAFEアワード 安全な職場づくり部門】



ゴールド賞

株式会社ベルク

「レジ椅子」の導入による身体的負荷・精神的負荷の軽減

腰サポーターの導入背景とその効果を教えてください

腰サポーターに限らずですが、施策案が出てきたら必ず効果検証を行います。数店舗で効果検証を行い、現場の声を反映して全体導入を決定します。腰サポーター導入当時、まだ自身が担当ではありませんでしたが、同じ手順が踏まれたと思います。「メディエイド」の腰サポーター(当初は「メディエイド」の前身である「マックスベルトCH」)を採用したのは、医療で実績がある会社のサポーターである点もあったと聞いています。

現在は、青果部門と grosalery 部門の全従業員に支給し、その他の部門は必要に応じて支給可能な体制が整備してあります。青果部門と grosalery 部門は、過去に腰痛労災が発生したことがあり、業務の特性上腰痛の課題が多い部門です。

そのため腰痛の有無に関わらず配布しています。自身の実感としても腰サポーターを使うと、一日の疲れが腰にたまる感覚が軽減します。腹圧が高められることで姿勢が安定するためと思います。従業員からも、腰痛の軽減や作業の快適性向上が報告されており、一度使用すると手放せないという声も多いです。

どの対策にも言えることですが、従業員が喜ぶ声が対策を導入する後押しになります。



M店 店長

現在青果部門とグロサリー部門という重量物の取り扱いの多い部門には全員に腰痛ベルトを配布できており、一定の対策が出来ていることに店舗責任者として安心しております。腰痛ベルトの使用だけでなく、腰痛を抱える従業員に対しての配慮も会社として取り組んでいるため、社員も安心して働ける環境が整っていると思います。今後も労災ゼロを目指し日々取り組んで、参ります。



青果部 部門責任者

腰痛ベルトを使用していると安心感があり、気持ちが楽になり、とても助かっています。一度腰痛ベルトを忘れてしまい、その日は不安な気持ちになりました。ただし、腰痛ベルトを使用し続けると、周辺の筋肉が落ちてしまうので、自宅に帰宅してから筋トレもしていました。

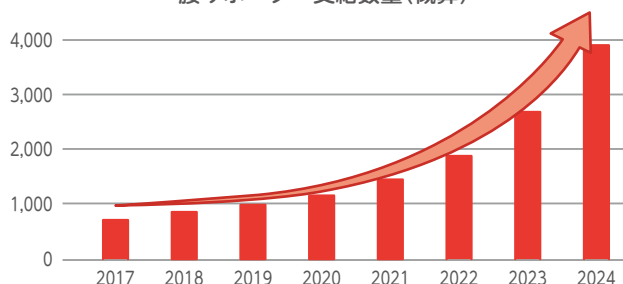


10,000人を超える従業員を抱えるベルクにおいて、腰サポーターの支給が定着できたのはなぜでしょうか

まず、スタッフの増員や従業員の希望を元に、店舗から腰サポーターを注文できるシステムがあるため、日々の運用に人事部や管理部の手はかかっていません。店舗が手間無く注文出来て、会社到手間無く調達でき、必要な人が手間無く入手出来るようになっています。

次に、腰サポーターがいつでも使えるのだという認知を、店長会議や部門会議での情報共有を通じて広めてきました。こちらから一方的に支給して終わりではなく、腰痛対策の必要性やその対策として会社が提供していることをしっかりと認知してもらうことは大事です。

腰サポーター支給数量(概算)



そうすることで、店長から悩みを抱えていそうなスタッフに声掛けし腰サポーターを支給することによって、腰の悩みの深刻化を食い止めるようなことも可能となります。定着の工夫は、腰痛予防ストレッチにもあります。開店前にストレッチ用のBGMを流すことで習慣化に繋がっています。出勤時間の異なる従業員もタブレットを活用して実施できるようにしています。

腰痛含む健康課題への対応について今後の方向性を教えてください

メンタルヘルスの重要性が高まっており専任部署を設置しています。

また、腰痛は無くならない課題ですし、転倒事故防止も今後考えていかなければならない課題です。これらの課題に対応するため、労災対策研究会を発足しました。労災に関する情報を幅広く収集し、新たな対策の実験と効果検証を通じて、労働災害の防止と従業員の健康増進に取り組んでいきます。

日本シグマックスには、腰サポーターだけでなく手首サポーターやインソール、測定機器などあり、従業員の関心も高いです。今後も効果的な製品の提案や情報提供を期待しています。



作業負担を軽減し、効率UPへ。働くカラダを、ケアする・支える。

MEDIAID

Workers Care

ワーカーズケア

メディエイド 腰サポーター LINEUP

しっかりガード《腰》ライト

快適な装着感を重視する方へ

薄く軽やかな着け心地

ライト
サポートわずか80gの
軽量設計*

※Mサイズの場合

しっかりガード《腰》スタンダードプラス

日常から運動時まで
様々なシーンでサポートしたい方へ

固定力と快適性を両立

ミドル
サポートサポーター選びに
迷ったらこれ!

しっかりガード《腰》EX ハード

腰が特にツライ・仕事等で腰を酷使する方へ

シリーズ最強の固定力

ハード
サポートムレ・ズレに
徹底対策

株式会社ベルクさまが
採用しているサポーターはこちら



メディエイドサポーター

しっかりガード《腰》スタンダードプラス

男女兼用
M~LL

4,500円(税込4,950円)

少ない力で簡単サポート



固定力 医療で培った技術で腰をしっかりサポート

- ①しっかりした硬質メッシュ。
- ②S字軽量ステー(支柱)が腰を的確にホールド。
- ③アジャスター付き補強ベルトでサポート力アップ。



フィット 立体設計でズレにくい

腰の形状に合わせた立体設計とS字軽量ステーを採用。アジャスター付き補強ベルトで簡単に調節ができ、腰にしっかりフィット。



快適性 快適なつけ心地を実現／使いやすさを追求

通気性に優れたメッシュ素材、肌面をドライに保つ3Dドライキーパーを採用。



少ない力で簡単に引き締め(締め付け)・調節ができるアジャスター付き補強ベルト

メディエイド Workers Careは、
「労働によるカラダの負担」を軽減・サポートする
ソリューションを提供します。

Workers Care Web site :
<https://mediaid.sigmax.co.jp/special/workerscare/>

労働安全衛生
の向上従業員満足度
の向上福利厚生・
健康経営の一環

日本シグマックス株式会社

[本社] 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1

TEL.0800-111-3410 受付時間:10時~17時(平日)